1月30日 日曜日 29日夕刊 昭和30年(西暦1955年)

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5

内外タイムス THE NAIGAI TIMES

第2992号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認新聞紙第232号)(中華民国東京政府第二類新聞・内政内務部登録警台字第0136号)

天気予報 今晩 北東の風、宵のうち雨残ってグズつくが夜更けてから…… 明日 北の風晴時々曇、ところによってしぐれる

あすの暦 1月30日・日 旧1月7日 月齢6.1 日出6.43 日入5.05 月出9.50 月入11.45 満潮 前9.00 後9.50 干潮 前2.40 後3.20 (小潮)

ソ連申入れを検討 首相、官房長官らと

選挙前に進展か

対ソ国交回復 具体策外務省で研究

根本官房長官は廿九日午前九時廿分小石川音羽の私邸に鳩山首相を訪ね、民主党外交特別委員長杉原荒太氏を交えて約四十分間にわたり日ソ国交回復問題について協議した、会談終了後根本長官は『この問題は選挙前の二月中にそうとう進展するだろう』と述べ注目された

席上鳩山首相は根本官房長官にたいし、旧ソ連代表部のドムニツキー氏との会見の経過について

一、廿五日午前八時四十五分から四十分間、音羽の鳩山邸でドムニツキー氏と会見、ソ連側の文書を受理した

一、文書の内容は日ソ両国の正常な国交回復をソ連が希望するとの趣旨のものであった

一、その結果廿五日は閣議があったので、その直前重光外相と会見、ソ連側の文書を手交し、外相にソ連側から文書がきた経過を米大使館に伝達するよう依頼した

むねの説明を行った、また杉原氏からは同問題にたいする米国側の反響などを説明した、これにたいし根本長官から『総理と外相の間に同問題について意見の食い違いがあると世間の疑惑が持たれているので、重光外相にたいしソ連側の文書を首相から受理した以後の米国側との折衝を首相に説明されたい』むねの連絡を廿八日夜行った、その結果、谷外務省顧問が同夜首相を訪問した』との経緯を報告、了承を求めた、ついでこんごの政府の態度について協議した結果、政府としてはソ連側の申入れをこんごいかにして正常ルートに乗せるか、具体的な諸問題について外務省で検討を続けることになった

根本長官によれば鳩山首相は日ソ国交回復問題を事前に外部に洩らした点については国民の支持と納得を得る外交を展開する趣旨によるもので、この点については重光外相との間に何らの食いちがいはないと述べており、またソ連側の動きについては米国側は反対、あるいは悪意を持っていないと観測しているようである

上 鳩山首相 中 根本官房長官 下 杉原荒太氏

根本官房長官談

会談終了後、根本官房長官は次のように語った

一、鳩山首相からドムニツキー氏との会見の顛末を聞いた、その結果首相はドムニツキー氏ともう一人の両氏と会見してソ連側の文書を受理したことと、その文書を直ちに外務大臣に伝達したことが確認された

一、ソ連側の文書にたいし日本政府が回答を出すという義務はないが、こんごはこのソ連の申入れをどういう手段で外交の正常ルートに乗せるかを外務省で検討することになろう

一、日本政府としては二、三日中に具体的な動きを示すことはないが、二月中の選挙前には相当事態は進展するものとみてよい

一、米国との関係についていろいろ心配する向きがあるが、私としては大して心配はしておらず、米国としても何ら反対する理由はないとみている

『正式文書』なら応ず

外相言明 確かめた上で措置

重光外相

重光外相は廿九日午前十一時の記者会見でソ連政府の日本にたいする国交正常化の申入れについて『鳩山首相に申入れたソ連側の意向がソ連政府の正式意向であるかどうかを目下確かめている最中で、もしこれがソ連政府の正式な意向であれば日本がこれに応じて

あるのは遺憾である、しかしソ連との間にはまだ戦争状態が続いているので、戦前のような関係に戻したいということである、これにたいしてソ連側から反響があったわけだ、ソ連の元駐日代表部は日本との関係では交渉する資格を持っていないのだが、これを通じて鳩山首相に日ソ国交調整のため日本と交渉を開きたいと申し入れてきた、この文書はむろん公文ではなく日付も署名もない、しかしそういう意思表示があったことはたしかである、従ってもしこれがソ連政府の正式な意向であると確められるなら、日本も国交調整の希望をもっているのだから

これに応じて差支えない、日本側の態度としてはこれまで述べた通りで変更するわけではない、これがどういうふうに発展するか慎重に見守っている、ソ連の意向がはっきりすれば発表するつもりである

これが正式のものであった場合の正式交渉は戦前に日ソ基本協定が北京で芳沢、カラハン両氏の交渉で結ばれたようにたとえば両国の駐英大使の間で交渉するやりかたもあるだろう、その交渉を現内閣がやるべきかどうかはつぎの段階で考えるべきことだ、まず正式なものかどうか確め、つぎに交渉の時期、場所、人などを考えたい、今回の文書の内容は国交回復のため交渉したいということで国交は東京でやってもよいということも書いてある、なお井口駐米大使がダレス米国務長官に渡した書簡は日米関係についての私の考を述べたものでこの問題に関係はない

多い〝神だのみ組〟

進歩派も叩く易者の門

神仏に当選を祈る候補者

……、なにも早いもの勝ちで当選するわけではないが、そこはそういう親心と同じ心理〝届出第一〟など、縁起のいい若い番号がほしいわけだ

東京浅草のT易断本部、昨年来入試受験の申込みに徹夜で先……散のニオイが濃くなったとたん『立つべきか、立たざるべきか』『活路はどこに求めるべき』と門をたたく代議士、立候補者がわれはじめた、同本部の話では十人や廿人どころではない、しかも保守系のご老体ばかりだ……

ジンクス集

勝負師の世界にジンクスはつきものだが、……

井口・ダレス会談

『ソ連申入れ』の反響

続いて中共も? 英外交筋観測

……における中立主義の強化にあると指摘しており、今回の対日申入れも広い意味でその線の動向と認めるべきだと述べて、ロンドン外交筋は問題点を次のように指摘している

一、台湾情勢の危機の最中に対日工作にでたことは東南アジア集団防衛条約会議の成行きにも重大な心理的変化を加える可能性がある

一、ソ連についで中共側の対日態度表明が早められる形勢もみられ、中共の場合は経済問題を中心として対日関係正常化を打出す可能性がある

政界春秋

自由黨に與う 木村 毅

私がこゝで、吉田前首相の立候補をたゝいたら、果然それが実現してしまった。変質人間のきちがいには、何をいっても判らぬから、私は一つ自由党にたずねたい。

公らが、吉田前総裁の恬淡無欲に、感涙をもよおして人格高潔と賛えたのは、つい先日のことだった。これは、今度の立候補で、むろん帳消しになったわけだが、そうすると公らの目さきの見えぬのにも、まことにあきれる。六年も党首にいたゞいていた人物が、人格高潔から人格不潔にドンデン返しになるとは一たい公らの目はふし穴だったのか。

それよりも、ラジオの討論会で、他党から、汚職党、指揮権発動党と攻めらるゝ度に、公らは、それは前総裁の折りのことだ。いまは新総裁のもとに、面目一新したと、ふた口めには答えた。これは全国民がしっかりときいている。

ところが、その前総裁を公認することになると、それは元の汚職党、指揮権発動党に、あと返りするということを意味する。

ついては、どうか、この次のラジオに出る自由党代表は、『たびたび、こゝから党は一新したと申しましたが、あれは間違いで、元の杢アミの汚職党にもどりました』と、はっきり表明してもらいたい。その勇気がないのなら、すでに第三期症状の自由党は、今からでも遅くないから、前総裁の公認は、取り消すはもちろんのこと、その他の汚職容疑候補の公認は、全部このさい抹殺しないと、再起おぼつかない。

一人の議席と、党全体の健康と、いずれが重いか。一土地選挙区の意向と、全国民の一般的な総合的な感情といずれが大切か。

かつて二・二六事件のおり、死んだと思われた岡田啓介が生きていて、あのマクベス式の血の悲劇は一片の戯画となった。いま、一たん墓の下にすっこんだと思われた権力亡者の立候補によって、さらでだに稀薄な国民の政治にたいする信頼は、全面的に揺さぶられる。

ねがわくば、党よりワンマンを可愛がり! のヘボ将棋をさすなかれ。至嘱。至嘱。

粋人辞典

モモンガー試食会

子供の時分、泣いたり騒いだりすると、大人たちは、それを止めさせようとして、化け物や幽霊の話を持出すのが常だった。そのうちで、いちばん怖ろしく思ったのは、モモンガーの話であって、

『そんなに泣くと、裏山からモモンガーがやってくるぞ。昨夜も飛んできて提灯のローソクを食ったそうだ。ローソクを食べ終わると食うものがなくなるので、こんどはお前たちのオチンチンを狙うそうだぞ。大きさが似ているからモモンガーは大好きだっちゅう話だ』

と嚇かされ、すぐに口をつぐんで布団の中へ首を突っこんで寝てしまったことを、四十何年か経った今日でも憶えている。モモンガーとはムササビのことだそうだ。泉鏡花の『高野聖』にも出てくるし、動物でありながら空も飛べるという、奇怪な生態の持主なのであるから、少年時の恐怖心で泣き止んだのも無理はない。

たいがいのケダモノは、試食している筈のわたしだったが、この肉の味だけは知らなかった。ところが、ごく最近、モモンガーを食べる会をやるから集合しないかという相談を、文春クラブの世話人である松山、香西の両氏から受けた。そのモモンガーは、私が子供のときにいた栃木県から運んでくるのもので、それも友人である奥日光・湯元、南間ホテルの主人、南間栄君の寄贈によるものだとの話であった。無論、モモンガーの顔も見たかったし、欧州から帰ってからの南間君の顔も見たかったから、喜んで参加させて貰うことにした。

その日は一月の十八日、場所は両国のモモンジ屋であった。献立表をお目にかけよう。

一、モモンガー鍋
一、鯛、アイソ、豚の睾丸の盛合せ
一、鹿の心臓、肝臓とロースの刺身
一、鴨椀、行者ねぎ
一、狸汁
一、切漬け、こけ桃、キャラブキ、山椒の若葉煮。酒は野州の『黒川』菓子は日光の『日の輪』

ざっとこんなものである。当夜の出席者は横山隆一、浜本浩、寺田竹雄、野口弥太郎、中村広忠、高見順、麻生豊、浜田平兵衛、尾崎士郎、玉川一郎、秋山庄太郎、阿部真之助、石黒敬七、松山省三、田崎勇三、香西昇、丸岡明、田村泰次郎といった、モモンガー以上の顔ぶれで、モモンジ屋がモモンガー屋になった観があった。浜本浩さんなんかは、みんなから、

『いよう、モモンガーの親分…』

と親しまれて酒をしこたま飲まされたり、後から入ってきた高見順さんは、

『いよう、モモンガーのメスの御入来』

と、もちあげられて豚のキンタマをすすめられるといった風の、いともなごやかな試食会が始められた。一同は、みんな箸をつけてみたが、肝臓のサシミは、あまりにも生々しいので敬遠するものが多かった。玉川一郎が豚のキンタマをかじり、固くて噛みきれないとコボすと石黒敬七ダンナが、やわらかいようでは役に立たぬと冷やかした。私と麻生豊はモモンガーの頭をかじってみた。美味そうに焼けているが、石のように固くてとても噛める代物ではない。そこで、さも、やわらかそうに見せかけて『これは、すばらしくウマいぞ』と二人でいい張ると、トンチ教室の玉川、石黒の両生徒は、

『そいつはウマそうだ。家へ帰ってオカアチャンに見せるのだから、ブタのキンタマと一緒に折箱へ詰めてくれ』

と女中に頼んで包みにして貰った。

私は途中で、これ以上食べると倒れやしないかとの心配で、一番先に逃げだした。血圧が、もう一〇ほど上昇すれば倒れるとオドかされている最中だったからである。たしかにこれらの肉はホルモンがあるらしく、翌日になって血圧を計ってみると、一〇どころか三〇も上っていた。いまでも眩暈がして仕方がない。だが、豚のネジれたキンタマを食い、狸汁を吸い、鹿の心臓を飲み、モモンガーの脳味噌を仲よくかじったであろう玉川、石黒の両夫婦間には、どんな結果がもたらされただろうか、との心配から、わたしの血圧が上っているらしく思われる。二人が自分の土産どころか他人さまの分までも貰い受けて折箱に詰めているのを、この目で見ていたからだ。

福田蘭童

東京株式仲値

□新株落△配当落 (29日前場終値)

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		日本曹	61	三菱化	84	カポン	54
東海上	311	旭電化	78	旭化成	287	三井物	174
郵船	—	三菱造	75	山陽パ	88	第一物	108
新三菱	92	三菱重	66	日本パ	83	白木屋	225
日清紡	272	石川重	90	国策パ	85	高島屋	85
味の素	287	椿工	141	東北パ	100	日活	90
三越	294	東洋ベ	117	大東紡	80	松竹	209
平和不	386	三井造	106	商船	58	東宝	133
三井金	103	日立造	45	三井船	58	大映	175
三菱鋼	90	浦賀	47	飯野海	49	日清粉	154
日鋼	70	日平	36	西武	330	日麦酒	[illegible]
住友金	92	古河電	74	藤田興	221	朝麦酒	181
三菱鉱	50	東芝	73	東京ガ	83	キリン	[illegible]
古河鉱	77	三菱電	99	東電	439	宝酒造	86
同和鉱	102	日立製	78	日銀	2600	野田醤	368
住友炭	67	小松製	71	東銀	86	日本粉	125
三井山	68	日本光	175	三井銀	70	昭和産	121
北海炭	63	東京光	47	富士銀	88	東洋醸	88
東邦亜	66	キヤノ	168	日証金	101	合同酒	91
日石	86	日軽金	178	大正海	106	三楽酒	77
帝石	67	東洋紡	133	住友海	126	台糖	189
昭和石	82	鐘紡	134	安田火	131	明糖	102
大協石	156	大日紡	83	千代田	90	日水産	73
東燃	120	日東紡	67	鋼管	68	甜菜糖	145
三菱石	89	片倉	37	日製鋼	76	大阪糖	140
日東化	70	富士紡	102	八幡鉄	65	森永	267
日産化	71	呉羽紡	87	富士鉄	57	明菓	166
三井化	89	東邦レ	106	神戸鋼	67	王子紙	187
東合成	90	帝麻	64	日特鋼	143	十条紙	201
信越化	72	中繊	56	日金鋼	49	本州紙	88
協和醗	107	帝人	122	日セメ	138	三菱紙	93
東高圧	102	東洋レ	154	小野田	85	北越紙	54
昭電工	72	三菱レ	121	磐城セ	272	三井不	838
		倉レ	75	横浜ゴ	200	三菱地	528
				旭硝子	143	三井倉	118
				富士写	176	渋沢倉	131
				小西六	110	東洋倉	225

市況 ダウ平均三七〇円台割れ

ソ連の対日接近政策もほとんど響かず引続き手掛り難かたがた休日控えもあって仕手筋内は見送られ仕手株、雑株とも総じて売物がちとなり全般は閑散のうちに下押すものが多い 特定株は東海上、新重工に万単位の大証券買も見られたが、値を支えている程度で無日歩の三越が保合っているほかは、味の素の三円安をはじめ軒並一、二円安の無気力な場面、雑株は桐生機、椿本、電力株の一部マバラ買に催りしているほかは日銀、日鉄鋼、白木屋など一連の池陽株がマバラ買に下押したのを中心に後楽園が減配説で売られるなど、全般は低調なジリ安歩調をたどり、廿九日のダウ平均株価は前日に比べ二円五十二銭安の三百六十八円廿六銭と七十円台を割った

▽安い株=日銀五十円、白木屋十五円、日鉄鋼、東洋繊十円、日本鋪道八円、後楽園、菱地所、舊物産七円、中山鋼六円、電気化、野田醤油、澁澤倉、辰巳倉五円

▽高い株=桐生機九円、中國電力、椿本チエン五円

内外抄

ソ連から国交調整の申入れ。鳩山さんが『確信』して見得を切ったタネができましたよ。

◇

選挙に『日ソ国交調整』で稼ごうとする政府与党、日共を稼がそうとするソ連の肚はご存知か。

◇

首相と外相との意見食違いで野党にも稼がせる。やっぱり『戦争状態終結』の功徳はありそう。

◇

政府いよいよ覚せい剤の取締りに本腰で乗出す。今になってやっと覚せいした次第。

◇

どちらにも害はあって益のない映画の三本立、止めさせられるまで止められぬ商魂の哀れさ。

ないがい川柳 吉田絣司選

原子爐で外米を炊く夢を見る 千葉 松崎光水

車中訣時と所の風のまゝ 江戸川 五迷亭

長い下駄履いて雪やけして帰り 江戸川 伊澤久坊

無欠勤社長に若い秘書がいる 川崎 小宮せいじ

成人の罪悪感の数に入れ 千代田 南渡波

茶柱が立って競馬へ足が向き 市川 川崎火呂志

引揚げてすが誇る父職がない 杉並 吉岡善雄

浅草の虫 (65) 浜本浩 作 栗林正幸 画

暴力(八)

『おう、何をするんだい? 危いじゃないか、そいつを、こちらへ寄こしなさい』

梧郎は、二、三歩退いて、恐る恐る手を差し出した。が、新子は容赦せず、命令するようにいった。

『よしッ。今夜は必ず、あたしのベッドで寝ると、約束しなさい』

その要求は、梧郎にとって、必ずしも不可能なことではなかった

『よしッ、約束するよ』

『ほゝゝゝ』

新子は、笑いながら、手に持ったピストルを差し出した。

『なァんだ。おもちゃのピストルか』

が、手に取るまでは、真物との見分けもつかぬほど、精巧なものであった。

『では待ってるわよ』

新子の軽い靴音は、まもなく裏町の闇に消えて行った。

故意にしろ、偶然にしろ、この場合の新子の悪戯が、突き詰めた梧郎の気持に、多少のゆとりを残してくれたのは事実であった。

が、訪ねて行った梅子の部屋に、はやくも座っていた新田を見ると、梧郎の感情は、忽ち激しく動揺した。

しかし、新田は如才なく、先ず声を掛けた。

『何処へ寄ってたんだ。遅かったじゃないか?』

が、梧郎は苦りきって、新田の正面に端座したまゝ、返事はしなかった。

たゞならぬ気配を感じた夏川千恵は、とりなすように口を挟んだ。

『新田さんは、あなたを、お待ちになってたんですわ』

梅子は、カーテンのかげで、紅茶の準備をしている気配であった。そこで梧郎は、夏川にも答えず、カーテンの彼方に呼びかけた。

『梅ちゃん。新田の手紙には、返事を出すなよ。解ったね』

『旗野君』

新田は、蒼白い頬に微笑をたゝえて、きいた。

『それは、どういう意味なんだ?』

梧郎は、けわしい額に、激情をみなぎらして、答えた。

『エロ隈の乾分に、誘惑されるな、といっただけだ』

『エロ隈の乾分だって? それじゃァ、ぼくは旗野梧郎の友人じゃなかったのかい?』

『もちろん』

『そうか。ぼくは、君から絶交されたんだね。いったい、どういう理由で?』

新田の顔には、複雑な微笑が残っていた。が、梧郎は、せっかく新子が心を遣った忠告など、もう念頭にもなかった。

『よしッ。約束だから、断るが、その理由は、外に出て説明しよう。さァ、出ろッ』

梧郎は、俄然、席を蹴って、立ちあがった。

驚いた夏川千恵が、身軽に腰をあげ、梧郎の肩に手を置いて、

『どうなすったのよ。さァ、座って下さいよ。お話なら、ここでもできるでしょう。私達がお邪魔なら、暫く席をはずしますから』

訴えるような眼を向けて、なだめた。

が、それまでは、穏かに応待していた新田清一が、何思ったか、颯爽と立ちあがり、

『いいとも、おもてへ出ろというなら、出ますよ』

いちはやく、戸口の靴を突掛けた。

大学の門

年を追うて進出する女子歯科医学生

敗戦民主主義のおかげで男女同権、男女共学が形の上だけは実現したが、実際にわが国大学生の男女性別をみると女子学生はとるに足らぬ数である。これは一つに女性は結局結婚して家庭に入るのだから学資をかけ、婚期をおくらしてはつまらぬという考え方があるのと、もう一つはせっかく大学を卒業して社会へ出ても待遇が男性にくらべてひどく悪いという事実のせいだろう。向学の心にもえるすぐれた女性が高等学校だけで社会へ出てゆく心理は、これ以外に説明のしようがない。

ところが、女性で男性と対等の条件で立派に仕事ができて世人から尊敬を受ける職種に歯科医師がある。独立心のおう盛な女性も多いとみえて昨年度には日大歯学部に三十一人の女子学生が入学した。この歯学部への女子の進出は年を追うて目立っているが、その成績は男子学生に比べてすこしも遜色がないという。

わが国の総合大学で歯学部があるのは日大だけであるが、その卒業生の歯科医界における活躍は目覚ましいものがある。この歯学部卒業生の国家試験合格率は昭和二十八年度九八%強で八校中二位をしめた。なお国家試験委員として現役教授から七人、校友から四人合計十一人の関係者が任命されており、国家試験審議部会委員に川合名誉教授を送っている

…な可愛い赤ちゃんの中にも人工授精が登場する…

ご難の人工授精児

夫の許しがあっても妻の姦通を構成

シカゴで私生児と判決

今週の眼

子供を運んでくる童話の世界のこうの鳥が現実の世界に姿をあらわした、人工授精がそれである、日本でも近代医学の申し子は既に全国で二百余人もすくすくと成長している、アメリカなどでは二万人もの人工授精児がいるという、ところが最近の外電はシカゴの法廷で『夫が許可したところで人工授精は妻の姦通であり、したがって私生児である』との判決が下されたと伝えている、イギリスにも、カナダにも人工授精児をめぐって法廷で論争がまき起されている、日本に何万人もの人工授精児が生れるようになったとき、やはり、このようなことが問題になるのではなかろうか？　これまで医学的にのみ検討されていて社会的、法律的には問題とされなかった〝人工授精〟に今週の眼を向けてみた

話題のうらおもて

海外の場合

賑やかな慶大家族計画相談所

シカゴ十八日発のＵＰ電報はシカゴのゴーマン判事が『人工授精は妻の姦通を構成する』との判決を下したことを報じている。……

ゴーマン判事は……

選んだ數人の精液を混合

珍らしいのは何と六年目に妊娠

成功率の高い他人の精子

外国では最近十年間盛んに行われ、アメリカでは独身婦人にも実施しているが、日本では昭和廿四年の八月、慶大医学部ではじめて成功した、以来同学部に家族計画相談所が設けられたのをはじめ全国で廿九の医大でも研究を開始、いよいよ隆盛になっている、これまでの慶応大学における研究によると成功率は平均四割五分で、夫の精子を使用した場合より他人の精子が成功率が高く六割三分になっている、人工授精をしにくる夫婦は早い人で結婚三年、遅い人で廿年、人工授精してすぐ妊娠する人もいれば六年目に妊娠した例もある【凸版は慶大式注入器】

子によるものの二種類がある―別項参照）だが、ロンドンの裁判所は『この子は、その父と母の生殖能から生れたものであるが、交接が正常に行われなかったから嫡子でない』と判決を下した、夫の精子による人工授精児でさえこのとおり、いわんや他の男の精子による子供は―という趣旨である

次にアメリカのニューヨーク州判決だ、ここではシカゴのゴーマン判事やロンドンの法廷とは異り一九四七年『生物学上の父（つまり精子を提供した男）が、その人工授精児の母の夫（ややこしいい回しだが、普通にいう父である）ではないときでも、なお、その子は嫡出子である』という判決で他の精子による人工授精児は問題なく嫡出子として認められている

（アメリカでは州によって法律が違うのである）

三番目はカナダの例である、少し古いが一九二一年に裁判所は確かな表現ではないが、『人工授精は姦通である』という意味の判決を下している

海外のこの問題についての法律論議はざっと以上の通りだが、とくにイギリスのカンタベリー寺院（英国国教の総本山、戴冠式が行われるので有名）の大僧正が、この問題を検討するために委員に任命した僧侶、医者、法律家の意見は『他の男の精子で人工授精するのは婚姻不履行という結果を生ずる』という物凄いものであった

ニッポンの場合

夫のときは合法

慶大で共同研究　他精子に賛否両論

さて、日本ではどうかというと、人工授精についてこのトラブルは一件―それも夫婦の間でなく、おしゅうとさんとの間のもの―しかない、現在のところ、まだ全国合せて人工授精児の数は二百十六人という少いもので、各大学医学部の研究段階に過ぎないから、それほど問題にならないのでアメリカ……

❸人工授精は自分の子を欲する人間の本能に基く自然の要求に適合するものだ

反対の意見は

❶姦通と考えるのが妥当だ

❷夫以外の男性の精液を受けるのはカトリック的結婚観からみて正しくない

❶夫以外の男性と肉体関係を結ぶわけではない

❷全く血のつながりのないものでも養子として認められている、他人の精子による人工授精児は妻の血を受けている

法律できまっていても堂々食べられるのが実際である、とはいっても、いざ将来、人工授精児が法律的に問題となると法律上の解釈で難かしいことになることもあるわけである

イザコザ殆んどない

実子以上可愛がられる

人工授精児が、法律上はどうあれ実際的にはどうなっているか？果して順調に育っているかどうかを調べてみると、これまでの例では、みな幸福ということがいえる、たった一つのいざこざをみても、これは山梨県の夫婦で夫が結核性コー丸炎で精子がなかった、そこで夫婦協議の結果、他人の精子で人工授精して首尾よく妊娠したが、夫に精子がないことを知っている夫の両親が反対して『せがれの子供ではないから』と家庭裁判所に離婚を訴え出た、家庭裁判所では『民法七百七十二条により、夫婦が同棲している間の子供だから夫婦の子である』と一応、訴えを却下した

いくら他人の精子の子でも夫婦で協議して産んだ子だから可愛い、やがては反対した両親も、その子を可愛がるようになったもので、外国のようないざこざではない

最も注目されるのは精子のない夫の心境だが、ある夫は、はじめは『女の子だったらおれは知らない、男の子だったら育てるが…』などといっていたが、女の子が生れても可愛がった、生後半年ぐらいは『おれの精子ではない』などと考えて複雑な気持だったそうだが、それが過ぎると、とても可愛くなったという

一般的に他人の精子の人工授精児は、自分たちのほんとうの子より可愛がられているのが実情のようだ

〝慎重に人を選ぶ〟

養子縁組の形式で―

慶大医学部　山口博士

『われわれは慎重に人工授精を実施する人を選んでいる、子供を可愛がれないような人は無論お断りするし、また、子がないから夫婦の間が冷い、そこで〝かすがい〟として子供がほしいという家庭にも人工授精はしない、ほんとうに円満にいっている家庭だけを選んでいる、だから、問題が起きた例は一度もない、どの夫も人工授精児を最愛の妻の分身として可愛がっているようだ、法律的にはよくわからないが、母親の連れ子として養子縁組させる形式でもよいのではないか』

各界の意見

山口哲氏

正木ひろし氏

〝科学的に処理〟

弁護士　正木ひろし氏

『姦通か否かといっても日本には姦通罪がないから問題ではない、民法上、正式な結婚である以上は夫の子として認定される、他人の精子による人工授精児でも夫が承諾しているのだから国民感情としていざこざは起きまい、他人の子供を拾っても育てるのが日本国民だから―外国ではカトリック教という法律以前のものがやかましく人工授精を攻撃するが、日本には、そんなものがないから科学的に処理できる』

〝事実が決定〟

家庭裁判所　鮫島調停官

『私個人の意見だが、事実がすべてを決定するという裁判上の原則が、この場合にもあてはまると思う、たとい夫が最初承諾したのに後で否認した場合でもあくまで事実を審理するだろう、外国の判例は日本の裁判には影響がない、とにかく、人工授精がいまの程度しか行われていない間は、裁判所として意見を発表する時機ではない』

学究的な段階

人口問題研究所　篠崎信男氏

『夫の許可のない場合は無論、違法である、人工授精はまだ日本では一般化されておらず、学究的な段階にある、一般化した場合は、あらためて、この問題についての社会的な道徳が考えられるのではなかろうか』

篠崎信男氏

モダン歳人記

子沢山の将軍

天保十二年一月廿日、徳川十一代将軍家斉は六十八歳で没した。彼は代々の将軍の中で在位五十年に垂んとする長期在職のレコード・ホールダーだけに公方様の我儘を満喫することができたのである。侍妾廿一人子供は五十四人というのだからたいしたもので、この多勢の子供の始末には幕府の役人もほとほと手をあげたらしい。

御台所は島津重家の娘で右大臣近衛経煕の養女、なかなかの賢夫人で、彼も初めは松平定信を用いて寛政の改革を断行、エロ本などは大いに取締ってみせたが、後では自分から桃色生活の範を垂れて江戸の世態をモヤモヤとさせた。

彼の十四号のお妾お美代の方は谷中感応寺の僧日啓の娘で、初め中野播磨守清武の二号として色道を錬磨し、腕を磨いてから大奥へ上って将軍をコロリと手中に丸めこんだのだった。溶姫、仲姫、末姫を生むに及んで権勢並びなく、奥女中は御代参に事寄せ、また感応寺へ寄進の衣類に化けて外出はお構いなく、観劇から役者買い、坊主との乳繰り合いと淫風吹き荒み、遂にお美代の方が孫を十四代将軍にしようという大謀まで企むに到ったのであった。（鮭）

浪人街道　(52)

木村荘十　野口昂明画

浮雲（三）

『待て待て、船をとめろ』

『旦那、かゝり合いになると面倒で御座います。逃げやしょう』

啓之助は、それも、そうだと思った。

しかし、船につきあたったものを、そのまゝ行く気にはなれなかった。

『まァ待て、人の命にかゝわることだ。見るだけ見よう。とても、助からぬものなら、見ぬふりで行く』

『左様ですか』

船頭は気が進まない様子だ。

美代吉は、啓之助の気持が嬉しかった。

『早くさ、ご祝儀をはずむよ』

船頭は、渋々船を引返しながら、

『旦那はお医者様で』

『何で？』

『助かるか、助からねえか、お分りになるんで』

『そうさな。藪井竹庵くらいには分るだろう』

『へへっご冗談で…』

その間に一人が、みよしへ出て半身を乗り出し、また沈みかける土左衛門の着物をつかんだ。

『どれ』

『まだ若い男ですぜ』

引張って来るのを舷から手を出して引寄せ、

『こりゃァ助かるかも知れんぞ、あげてやれ』と命じた。

『旦那、ほんとうですか』

『助かるか、助からぬか、やって見ねばわからん…自分が溺れたときのことを考えて面倒見てやれ』

『あっしゃ、河童なんで、溺れることたァ御座いません』

『へえー』

美代吉が皮肉にいった。

『お前さんは溺れないのか。洲崎の三ぶ宿に首ったけで、舟宿をしくじりかけたのは誰だっけね』

『姐さん、こんなところで人が悪いや…溺れるの溺れねえのって、女は別でさァ…とても、深川の女衆の中を、誰だって泳ぎ切れるもんじゃ御座んせんや』

『お前さんでも、女には、そんな嬉しがらせをいうんだね。あ、ちょいと、ずるッとこけちゃうじゃないか。襟なんかつかんでないでさ。腋の下へ手を入れて、抱きあげておやりよ』

『えーッ抱くんですかい』

船頭は仕方なく、おもての板子の上へ抱えあげた。

啓之助は、直ぐに濡れた帯を解いて胸をひろげた。

うつ向かして水を吐かせたが、あまり吐かなかった。

『おかしいな。大して水はのんでいない様子だが…』

半身を抱き起して、背後に回り膝を背にあてて活を入れて見た。

『おい、しっかりしろ』

ぴしッと、平手打ちに頬を叩くと、ぴくッと動いたような気がした。

あすの運勢　一月卅日　高島象山

▲一月生―物事に邪魔が入り行き悩み易い迷う事なく稼業をまもれ
▲二月生―自動的に技術を発揮して努力すれば効あり目的を達する
▲三月生―はれやかな気運に恵まれて物事進展向上あり開業改卓吉
▲四月生―質素なる気構えと以て徐々に活動すれば次第と向上する
▲五月生―威勢をはる事なく真實を発揮して行へは次第に向上する
▲六月生―目前の利欲に迷い他人の甘言に乗って大に失敗あり注意
▲七月生―大事はよろしからず小事に吉の日あり消極的に活動せよ
▲八月生―継続的好調に至り利運栄邑あり新規は凶現状維持によし
▲九月生―物事思慮して失敗を招き感情に走って失態を生じ易い也
▲十月生―気迷いを起さず稼業大事と辛抱して努力すれば栄運する
▲十一月生―物事自信と確心のある事は大胆に決行して栄運ある也
▲十二月生―功を焦らず経験を生かして活動すれば信を得るもの也

艶流世界譚

『…（カンボジア）…』

パリに留学していた地主の長男が五年振りで帰国したので、村ではどこの娘がその細君に選ばれるかというので大騒ぎでした。毎日のように嫁の口にかけてきます。肝心の若旦那はちゃんとパリでさんざっぱら色修業をしてきましたから、今更、色の黒い故国の女達に色気なんかないのです。しかし、親の方はそんな他国の女を嫁にすることなんか思ってもみたこともないので、何とかして仲の嫁をと焦っていましたが、

『あんな色の黒い女は、これからの世の中では気まりが悪くて女房にできませんよ』『といったって、パリ娘なんてのはご先祖にかけて家には入れられないよ、いくら色が白くても』『それは判っています』『あの混血のジーラはどうだね』『ジーラだってありゃ、まだ子供じゃありませんか、幾ら色が白くてハイカラだって―』『うんにゃ、子供とはいえないよ、あれでもう、ちゃんと本物のフランス人との間で前に子供の二人も生んだことがあるんだからねえ』

生きる樂しみ

人間長生きはするものである。日本古来の食べものから、東西両洋の娯楽がたのしめるようになったかから。『生けるしるしあり』とはまさに現代のことをいうらしい。生きる楽しさ！日常生活の中にも一番重要である。食べるということはただ食べるというだけのことでなく珍味とか美味を追ってその楽しさを倍加するものである。

腹一杯が三〇〇円

御徒町　慶尚館

中国料理店は多いが朝鮮料理の店はすくない。ふしぎな現象だが朝鮮人の精力は朝鮮料理から生れるのだからもっと普及していい筈だ。―というところから『慶尚館』を紹介しょう。灘の生一本に焼肉と飯を腹一ぱい食って三百円というから安いが、これで寒さもデフレも吹っ飛んでしまう。銀座でこれだけ食べるとまず六〇〇円はとられる。マスターは慶尚南道出身の苦労人でキップがよく、朝鮮服の似合うマダムは美人で愛想がいい。日韓両国の親睦のために採算を度外視しているというのも気持がいい。場所は御徒町駅から アメヤ横町の昭和通り裏にある。(83)六三七六（写真はマダム）

厚いとんかつ

澁谷松竹裏〝三富〟

とんかつは熱くて厚いのがうまい。大体が大戦災以来の物資不足のなかで、安くて手軽でしかも栄養たっぷりという所から一躍日本人の嗜向に投じるようになり、名題の店も沢山生れた。ところが戦争中から戦後にかけてミミチクなり、今でもとんかつはうすい物だと思っている人も多いが、そこへ行くと渋谷松竹裏の『三富』のとんかつはうれしい。材料をえらんで味自慢、厚み自慢と来るから安心して真髄が味わえる。映画俳優とか映画監督などの芸能人連中が顔をみせ、店の雰囲気も文化的なさやかさをただよわせている。店は新鮮味のある日本風の造りのなかに机、ボックスが清潔におかれ、ほかに座敷もあるという周到さだ。（写真は三富主人）

大衆と共にゆく

中野駅北口　ミリオン・ダンスホール

ギリシャの昔から歌と踊りは人間本性のもとめるところ。流れるメロディーに身を任せておどればふたりの胸には自らロマンの灯がともるだろう。中野駅北口の『ミリオン・ダンスホール』は東京で唯一軒の大衆ダンスホールで、専属のスイング、タンゴバンドの奏演を伴奏に、気軽に気持よく踊れる。夜六時～十時半まで一二〇円、土日祭日はランチタイム一時～五時が七〇円というからこんな安い娯楽はない。教習部があって平日の十二時から五時まで教授している。教授陣は広瀬謙一、岩田作造他十数名、ワンレッスン百円。

大井の話題!!

サロン・ギンネコ

―大井町駅西口下車銀星座裏―

大井町駅付近は都心から十分はなれただけで、安直な気分で遊べるというのですさまじく発展しているが、怪しげな飲屋も少くない。その点大井駅西口銀星座裏の『サロン・ギンネコ』くらいになると安心して遊べる。大井随一のサロンで、何しろ盛衰のはげしい水商売にもかかわらず八年間看板を守り続けているのだから心配はない。居心地も良く、サービスガールも長く居ついている。女性はいずれも美人で、その上マダムの感じがよく設計がまた洒落ている。都心をはなれて銀座の味が満喫でき、客層も開店以来の常連を始め、サービスガール達と織なすコントラストは他店に見られない。

昔なつかしい燒蛤

五反田有楽街　汐美

焼蛤というと軽いＹ談の種になりそうだが、昔から日本人に親しみの深いたべ物で、酒のサカナによく、おかずにいい。蛋白だから栄養にはもちろんいい。その焼蛤を食べさせる店が五反田にできた。有楽街の入口、郵便局隣の『汐美』がそれである。開店してまだ一月くらい、小さいが品のいい瀟洒な店で、汐風にまけぬマダムのサービスが実に気持がいい。蛤は船橋から直接仕入れ、みごとな味にして一皿五〇円で出している。帰りにはお土産におりづめを用意してくれるが、こういうサービスをする店は東京広しといえども珍しい。

スルスルの音東京一!!

京橋　そば処　藪伊豆

そばはいうまでもなく日本古来の主食代用品、荒地に白い花をさかせる可憐なそばの花は俳人の感興をそそったが、その風味はまた世の中がいそがしくなればなるほど多くの人に愛好されている。日本の伝統への郷愁とでもいうところであろうか。

京橋、近代美術館前横の『藪伊豆』のランチタイムをのぞいてみると、いるいる、重役氏、サラリーマン、オフィスガール等々すべてこれそば愛好家が店内にあふれ、番号札順に運ばれるそばを待っている。これほどそばを愛する人がいたかとおどろく程の集りだが、ゆたかな味と香りそれに安い値だんと来ればこの繁昌も偶然ではない。藪伊豆は京橋本店のほか国税庁、水道局、法務省、大丸等の官庁やデパートの食堂に支店を出しており、そば粉の消費量は東京そば業者中の随一であるという。

〝無形文化財!!〟街の世話役

日本橋呉服処　滿つ本　主人談

『文化財、文化財と言うてこの頃はだいぶやかましく言うようになって有難い事どすが、私共は先祖代々染と織の商売でやって来ていますので、生れるとから足田や友禅の中に育ったわけどすなア。そうどす親父が早く亡くなったので十二歳の時、叔父にやって貰っていた店へ突出され、白生地の縁取りから染出しの湯通し迄一つ一つ実地に教へられたものどす。機屋廻りから下職廻り、考案から下絵あたり迄、何がなんやら判らない時に、やかましい叔父から染と織の基本を叩き込まれ随分無茶だなァと思うようなこともありましたが、十七・八になってからポツポツ染物の文学的幾何学的創作の面白味、立、横糸丈けの妙味、そんな物が分ってくると自分から段々深味へ入った山田に私が揚子糊の技術を伝えさせたもので、江戸小紋の小宮は文部省の技官や博物館の明石先生に私が揚子糊友禅は私共の工人であるようなものどす。形文化財の工芸は成立っているやっていて、そのお蔭で今の無形文化財の立場から何とか援助をやって頂いたいものどす。今は文部省でやってますが戦時中は工芸技術保存を商工省や国井喜太郎、児玉布望先生等と……いと推薦したものです。こういう技術は残さねばいけない。元々私の方は御婚礼衣裳の家柄で華燭衣裳や紋付訪問着には聊か自信があります。今ポツポツ春の陳列会の準備に掛っております。エ、陳列会は大体春秋に隣りの大増か芝の美術倶楽部で致します。はい、ではさようなら。』

胸奥深く悲恋の苦悩

その後のみさを姐さん

一夜荒れ狂った激情

獄窓の大津へひたむき

カービン銃ギャング事件の大津健一の公判は、この廿五日第三回を終り、次第に事件の内容が明らかにされているが、一方大津の情婦として騒がれた中田みさをさん(二九)は料亭の女中として自活の道をたてて二ヵ月、ようやく女としての気持も生活も落ちついたころではあるが、運命の女としての、みさを姐さんの悩みは、なお果てしなく続きそうだ。これは本人や周囲の人々にきいた"みさを・その後"である(1)

【写真は[illegible]みさを姐さん】

報われぬ愛情ゆえ?

ひいき筋の作家連同情

◇みさをさんは既報のように新[illegible]美しい人だけに早くも板について[illegible]枝子に酷似した美貌なのでお目当[illegible]

入りしている『ねえ、あたしがくるまで火鉢でも抱いていてネ』と愛嬌をふりまきながら各部屋を回り持ちをするほどこの店の人気者小粋な茶羽織がとても似合う彼女の姐さんぶりはとても楽しそう

◇ところが、つい先日、やはり彼女がひいきの某有名作家の座敷でみさを姐さんが大荒れに荒れた。元来が酒好きの彼女はすでに相当"酔っていて、はじめはしんみりと『五木の子守唄』や『ひえつき節』を唄っていたが、突然酒肴の並んだ膳をひっくり返し、花ビンを投げて窓ガラスを破るという"女虎"となり、客の作家たちを呆れさせてしまった。はじめてのことなので女将も恐縮するばかりだったが、これは胸の中につもりつもった彼女の悩みがフト噴きあげたものらしい。週に一度は大津の面会を欠かさないみさをさんで、荒れた前の日も面会に行っている。その日のことについて彼女は『あの人の指がヒョウソになって…いまのあたしはあの人に会うのが一番の楽しみです、面会時間も特別に長くしていただいてますが、あの日はあんまり甘えすぎて注意されちゃって…このお店のことは何でもあの人に話すんです、これも…』としなやかな指でふれたのは、ノドのあたりにポッチリと浮いたキッスマーク『酔って、うたたねしてる時お客さんにいたずらされて…』あどけない眼でほおえんでみせるみさをさんだが、キッスマークなどをみせられた大津はどんな気持だろう

◇彼女はひところのような気持の動揺もなく、絶えぬ誘惑の手にもハッキリ『あたしは大津の妻ですから』と一途な大津への愛情を示し、浮いたウワサはまったくない、その細腕で大津の弁護料を貢いでいるほどだが、冷たい獄舎にいるためか、それとも彼女は"利用されただけの女"なのか、大津の態度は冷たいようで、こんなところにも彼女の秘めた悩みがあるらしい。荒れた日は生理日でもあったが、前日の面会の際他人にいえぬ何かがあったのでもあろうか

◇彼女の悩みはまだある。周囲の人の話によると、今は大津の実兄宅=新宿区四谷三栄町=に身を寄せているが、実兄は最近失職した為、彼女が九人家族の一家の生計まで背負わなければならなくなった。大津がもし死刑になったら恐らく生きてはいないのではないか―とまで一部にウワサされるほど一途な愛を捧げながら、何ら報われるところもない毎日、髪を束ねた白いリボンのみさを姐さんと対座していると、『浮雲』などで宿命の女を描いた林芙美子の"花の生命は短くて、苦しきことのみ多かりき"という詩の一節が浮んでくる、みさを姐さんがまたお座敷で荒れる日があるかもしれない

中共から日赤へ入電

今度の帰国は九百人

残りは戦犯組と同時か

中共紅十字会から廿九日午前十時日赤本社内三団体連絡事務局に第十次帰国者人数につき『現在の日本人帰国申請の情況によれば、今次の来船により九百人前後が日本に帰国する』と入電があった、日赤では興安丸の塘沽到着までに人数は多少増加するものとみて厚生省にたいし食糧千人分の積込みを要請した

昨年来日した中共紅十字会代表団が言明した帰国希望一般人約二千名のうち、十一月五百卅三名が帰国したので今なお約千五百名が残っている、こんど九百人帰るとすれば五、六百名がさらに残されることになるが、日赤では『近く釈放されるはずの戦犯と一しょに帰国するか、別に船を出すことも考慮している』といっている

またこんどの興安丸で廿八日大村収容所から仮釈放された百廿八名を含む在日華僑約四百名が帰国する、なお興安丸の出港予定は次の通り

九日舞鶴出港、十二日門司出港、十五日塘沽着

読者ポスト

困った問題に解決策を提出、住所、氏名、職業を明記へ『ポスト係』へ 採用分に薄謝呈

老父まで追い出す

本妻を捨て情婦と暮す息子

[illegible]老父ですが、長[illegible]出して情婦と同様[illegible]は親を養う必要が[illegible]私まで追い出され[illegible]

たまりません、それも長男が病床にあって情婦の働きで生活をたてている現状だから、しかたないとも思いますが、なんとかみんなが幸福になれる道はないものでしょうか、なお私どもは引揚者で、私の妻は卅一年前に死亡、以来独身でおります(大森海岸・山本生)

◇東京家庭裁判所上席調査官小降三千男氏に相談したところ『文面だけでは詳しいことが判りません、お会いしていろいろ話を聞いてからでないと、気休め的な責任のないお答になってしまいます、文面から察したところ、あなたと長男、長男と本妻、情婦、子供、本妻と子供などの関係にいろいろな法律問題が含まれており、家庭裁判所と福祉事務所とが協力して解決する問題です、といっているので、投書の山本さんが一日も早く直接相談に来るよう望んでいる

町田町 重役夫人殺し追及

犯人は顔見知り 断定

殺した漬物石を發見

島 孝子さん

都下町田町の重役夫人島孝子さん(三七)殺し事件につき町田署の捜査本部では、廿八日夜被害者宅の検証を行った結果、犯人の指紋採取と凶器である石を発見、前後の事情から犯人は夫人と顔見知りの者と断定した、すでに凶行当日の午後挙動不審の男を近所の人が目撃しており、同本部はこの男を犯人として追及している

調べによると玄関に火鉢と座ぶとんがあり、二人で話込んでいた様子があるところから顔見知りの者の犯行と断定されたもので、犯人は夫人といったん話込んだのち殺意をおこし、同家の裏にある物置に行って直径十五センチ、厚さ二センチのつけ物石を持って来て、夫人を六畳の間に追いつめメッタ打ちにした、凶行後犯人は洗面所で血のついた石と手足を洗ってから逃走した、凶行推定時間は死体のあたたかみから同日午後二時ごろとみている、同本部では死体の右モモに血のついた手でさわったらしい血こんがあり特に重視している

轢逃げ米兵逮捕要請

京橋署では廿九日朝中央区築地小田原町米軍第五十九憲兵隊憲兵軍曹メーフォルド・ラルフ(三七)をひき逃げ容疑で取調べのため身柄引渡しを米軍憲兵司令部に要請した、同人はさる廿一日午後十時十分ごろ中央区京橋二の八先で八王子市東町一〇無職小宮実治さん(三[illegible])を軍用ジープではね飛ばし逃走、小宮さんを頭部強打で死亡させたもので、京橋署はCIDと協力、遺留品から同人を追及した結果犯行を認めたもの

感冒で臨時休校 千葉

【千葉発】千葉大学教育学部付属小学校(校長市原権三郎氏)では去る廿日ごろから流行性感冒患者が急増、廿九日現在児童約六十名が欠席しておりさらに続発のおそれがあるので、同校では卅一日(月曜)から三日間全校休校することとなお千葉登戸小学校では四年生三、四組から卅一名の患者が出たので廿八日から四日間同組の全員を登校を禁止した

節分に成田へ 国鉄臨時電車

国鉄では二月三日成田山の節分参拝旅客のため新宿、上野両駅から成田直通臨時電車上下四本を運転する、ダイヤ次の通り(カッコ内停車駅)

△下り 新宿発十三時五十五分、成田着十五時四十分(秋葉原、両国、千葉)上野発十四時廿分成田着十六時(松戸、我孫子)

△上り 成田発廿時十分、上野着廿一時五十二分(松戸、我孫子)成田発廿時廿六分、新宿着廿二時廿二分(千葉、両国、秋葉原)

(御茶の水)

お上りさんサービス改善

バス・ガイドの研究会開く

春はお上りさんと修学旅行からという訳で、各地からの東京見物がふえてくるのに備え、財団法人日本修学旅行協会ではガイドをもっと判り易くという希望もあり廿九日午前九時半から皇居前を中心に『バスガイド研究会』が開かれた

当日集ったのは新日本、国際興業、帝産オートなど都内の観光会社と中学、高校の先生達で、ガイド嬢からいろいろ説明をきいたり、こうしたらいゝだろうなどの意見交換があった【写真はガイド嬢から説明をきく研究会のメンバー=けさ皇居前にて】

エムさん 59 石川進介

新東京マンガ風俗地図 目黒不動の寒行女⑧

ヘップバーン髪を崩したような女がなにやら呪文を唱え水に打たれていた。フックラした乳房に飛沫がハネ返り、それがキラキラ寒空に光って荒苦行の清浄さがピリリッと感じられる。

ここ目黒不動尊である。

裸になった女性をみると妖しいときめきを胸に響かせるのが世の男性の通弊? だが、水ごり大寒の女だけは別であった。キリリッと結んだ口許には紅の色香もなく意思の強さがよみとれた。

行事を終って上ってきた彼女に質問を浴びせかけた。

『大変でしょう、寒行の動機を話してくれませんか―』『別にお話することはありません。たゞ信仰と精神統一、健康この三つに尽きます』

『寒いでしょう』

『馴れるとなんでもありません。打水が終った時の爽やかさは何ともいえません』

そういゝながらそゝくさと書院に入っていった。

そこで坊さんに大寒荒行の模様をきいてみた。

『滝の口から落ちる水は地下水をモーターで汲みあげたものです。だから水道などとは違ってポカく暖いですよ。嘘だと思ったらやって御覧なさい…』と、坊主にくけりゃ袈裟まで憎いもののいいかただ。それでもこの坊さんちょっぴり話せるところがある。ニヤリ眼尻を下げながら、

『女性も数名きますが、あの滝に打たれてからは血色がよく病弱はメキく回復し、冷え症で夫のサービスが出来なかった奥さんも最近ではすゝんで参詣に[illegible]勢に出るといってましたよ』アッハッハーと笑いでごまかした。

雑談しているうちに禅一本の爺さんがさっきの女性とは対照的老骨をひっさげ、色気もなくザブンくと膝小僧まである水をかきわけ、滝の口のところへ行ったと思った瞬間、天地も裂けよとばかりガナリ立てたにはおそれ入った。へ南無不動明王…

こゝまでは、はっきりきこえたのだが、あとは震え声と滝の音でなにやらグジャくきゝ損じたが、ともかく爺さんのハリキリぶりたるやアプレ青年へせんじ薬にしてやりたいような元気さだった。

ご主人思いの一念

冷え症克服の荒行事

【え と 文 森 比呂志】

動くヌードをスケッチ

ピカソ会合同大会

◇…『ストリッパーをスケッチする会』というのが廿八日夜浅草公園劇場でひらかれた、これは素人画伯のグループである浅草ピカソ会はじめ銀座、新宿、千葉の各ピカソ会が描き初めとあってとくに合流しての五十余名の大写生会だったが、夕刻ごろからスケッチブック片手に続々と客席にあらわれた素人画伯たちの中にはストリップ劇場には珍らしい独身女性も相当みられ舞台の踊り子たちを驚かせた

◇…ヌードには馴れてる"娘画伯"たちも動きの早い尻ふり舞台のハダカにはチト面くらったようで、寸劇のキワドイせりふにも神経をカクランされてかかぶりつきに陣取ったスケッチの手もふるえ勝ち、それでも指導役の峰岸義一、宮尾しげを、清水錬徳、伊東市太郎センセイや、岩佐東一郎、北林透馬、平野威馬雄、楠田匡介氏ら"悪童画伯"たちにはげまされ、幕間には楽屋にまで押しかける熱心さ、やっさもっさのうちにも『踊るハダカ』のケッサクがスケッチブックに描かれていった【写真は舞台でストリッパーを写生するピカソ会のメンメン】

婦人三団体で公明選挙中央会議

主婦連、地域婦人団体同盟、日本婦人有権者同盟の三団体により『公明選挙推進全国婦人中央会議』が自治庁公明選挙連盟の肝入りで廿九日午前十時から東京九段の都市会館で開かれた公明選挙の主旨徹底方法について協議した

独眼灯

○…伊豆下田町広岡、映写技師田辺唆さん(五〇)という街の野鳥研究家のオジさんは、昨年十一月下旬天城山中で身長一尺六寸、一貫目余の大ふくろを生捕り、大切にかっていたが、寒に入ってから元気がなくなりポックリ死なしてしまった

○…このふくろ、おそらく卅歳以上だろうと老猟師連も珍らしがっており、研究資料にもなるというので剥製にして保存することになった(伊豆下田発)【写真は稀代の大ふくろ】

今晩のラジオ 29日(土)

時	【NHK第1】―590KC―	【NHK第2】―690KC―	【ラジオ東京】―950KC―	【日本文化】―1130KC―	【ニッポン放送】―1310KC―
6	00 少年少女音楽会『アルルの女』ビゼー作曲ほか 40 スポーツだより	00 松の落葉 市川寿海 30 スタジオ演奏会 ❶小唄 ❷長唄 唄吉住小愛	10 劇『こんちは横丁』 25 ぴよぴよ大学河井坊茶 55 スポーツ・タイム	00 劇『すずらん太郎』 15 バンド・タイム 45 スポーツ・ニュース	00 明るい窓 アンリー・ファーブル物語 30 ロツパモシモシショウ
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 二十の扉 玉川勝太郎 木村若衛 鹿島秀月ほか	00 映画音楽 ビング・クロスビー集解説清水光雄 30 ❶青年学級だより❷座談会『青年と家庭』	10 録音ニュース 20 物語『福沢諭吉伝』徳川夢声 50 越路ポケット・ショウ	00 録音ニュース 10 ペギー・リーの歌ほか 30 アベック歌合戦 トニー谷 豊文 石井亀次郎	00 ラジオ夕刊 20 劇『今日もまた』 30 親子演芸会❶声色吉岡貫一❷落語三遊亭歌太郎
8	00 なつかしのメロデイ 古川緑波 田谷力三ほか 30 とんち教室 石黒敬七 玉川一郎 長崎抜天ほか	05 ダンスアルバム リクエスト 解説谷田部敏夫 45 スポーツショウ 国体スケート競技会を語る	00 お笑い名人会 落語『とどん屋』柳家小さん 30 浪曲 次郎長伝『お蝶の焼香場』広沢虎造	00 素人ジヤズのど自慢 司会丹下キヨ子ほか 30 お笑い入学試験 小野田勇 千葉信男ほか	00 アルゼンチンの夜 歌 前田美智子 ロレソン他 30 講談 現代力士伝決戦 一竜斎貞丈
9	05 ニュース解説藤瀬五郎 15 劇『富士に立つ影』問答開論日の巻 徳川夢声 40 時の動き	00 ニューワールド・コンサート ワグナー作品集『ジークフリート牧歌』歌劇『ローエングリン』他	10 歌謡曲 東郷たまみ 青木光一 美空ひばり他 40 歌謡漫談 遠山の金さん 川田晴久ほか	00 ❶漫才『君の仇名』千太万吉❷落語『素人鰻』 30 劇『この世の花』真木恭介 山岡久乃ほか	00 浪曲『東京一代女』寿々木米若 30 劇『噫その人を』丹阿弥谷津子 高橋昌也他
10	15 今週のニュース特集 40 幸福を拾つた話『ガード下の人生の巻』	00 ❶初級解析 尾崎繁雄 ❷上級英語 石橋幸太郎 45 気象通報	05 今日のニュース 読売 30 ドラマ『うちのおばちやん』田村秋子ほか	00 英文法 野原三郎 30 国語(古文)富倉徳次郎	00 紅白歌合戦 水ノ江滝子 桂右女助 35 スポーツ・カレンダー
11	10 NHKだより 20 ❶明日の話題❷随筆	00 論争と言葉の魔術 15 新聞論調	10 週末夜話 40 お知らせ	00 DXニュース◇小唄 40 変響詩『プシケ』	15 歌ごよみ『音丸特集』長崎夜船 浪花夜船ほか
あすの番組	8・05 ファウストの劫罰 9・15 ロシア民謡集 9・30 光を掲げた人々 カント 高橋昇之助作 10・15 ニールスのふしぎな旅 [illegible]	8・15 科学ゼミナール 北大教授 中谷宇吉郎他 9・00 日曜随想 辻光之助 9・15 謡曲『花月』観世流 11・00 囲碁将棋の時間 [illegible]	8・20 楽しい手紙 飯島正 9・10 ちえのわクラブ 10・30 歌劇『カルメン』抜萃 11・05 音楽アルバム 12・10 素人うた合戦 [illegible]	8・25 みんなのメロデイ 9・30 歌のかくれんぼ 10・10 宮城まり子の歌ほか 11・30 オテンバさんメイコ 12・00 痴楽お笑い大学 [illegible]	8・45 劇『花の開くように』 9・00 週間録音ニュース 10・30 ナイト・トレーン他 11・00 劇『ワチニンコ物語』 12・00 歌の二人三脚 [illegible]

テレビ

NHKテレビ

6・00 漫画『光のビン詰』
6・10 親子クイズ
6・40 今晩はメイコです
7・15 NHK週間ニュース
7・30 浅草国際劇場から春の踊り 松竹歌劇団
8・35 コンサートホール

日本テレビ

6・00 豆ジヤズシンガー
6・10 毒虫さそり
6・30 素人のどくらべ
7・30 何でもやりまショウ
8・00 スペイン音楽の夕
8・30 甚五郎の猫餅 菊春
9・00 古都幻想 遠藤元男

☆NHKテレビ☆
12・15 映画『えび漁師』USIS提供

☆日本テレビ☆
12・15 リズム・フエステイ[illegible]

砂町で工場火事

廿九日午前十一時五分ごろ江東区北砂町四の一四〇六東京製版工業株式会社=社長金子徳八氏(五五)=工場から出火、モルタル工場天井裏約四十坪を焼いて同廿分ごろ鎮火した、城東署の調べでは機械にたまったゴミに油がしみこみ、まさつから自然発火したものらしい

富久町で二百坪焼く

廿九日朝五時廿分ごろ新宿区市ヶ谷富久町七七竹内工務店=責任者竹内牧之助さん(四九)=方宿直室付近から出火、木造平家住宅と材木置場など四棟約二百坪を全焼して同六時十分ごろ鎮火した、原因は漏電

江戸川で食品工場

一九日朝八時五分ごろ江戸川区江戸川四の七パン粉製造業あずま食品株式会社=経営者[illegible](三七)=方から出火、兼工場一棟五十七坪[illegible]川署の調べでは煙突[illegible]

勝浦町で十五戸

【[illegible]発】廿八日夜八時半[illegible]隅郡勝浦町新官植村[illegible]から出火十五戸を全[illegible]

高林、五百に一位

【軽ノ海発】国体スケート二日は一部種目の決勝スピードでは一般男子林が一位を占めた

△一般男子五百メートル決勝 ①高林(長野)43秒9、②[illegible]奈川)44秒5、③[illegible](北海道)44秒8、④工藤([illegible])⑥岡田[illegible]

日本チーム敗る

訪ソ・レスリングチーム【訪ソ日本チーム=共同】訪ソ日本チームは廿八日、ソ連国の首都トビリシ市で選抜チームと対戦、6[illegible]これで日本チームは試合を終ったわけで[illegible]は三戦全敗であった

松戸競輪三日目成績

◇第二B(千)①田村[illegible]1分[illegible]秒7②小島克[illegible]③[illegible] 特70円(複)170円[illegible] ①―②1270円

◇第三A(二千)[illegible] 0秒5②八島堅一[illegible] 370円(複)110円[illegible] ⑥―③2130円

あすのスポーツ

△[illegible]体冬季(軽ノ海)△[illegible]鍋山)△大相撲[illegible]集大会(蔵前国技館)[illegible]ボール 都高校女子[illegible]高、お茶の水付属[illegible]

酒友角界をひとなめ

リレー対談

田崎センセイは、酒友であり、角力のファン同士であり、医者と患者の関係にあった人生劇場の尾崎士郎氏にバトンを渡した、ちょうど春場所大相撲の千秋楽とあって、相撲界※の話題に花が咲いた、次回は慶大教授で粋人の奥野信太郎氏が登場してくれるが、ホーデン縦横談にでもなるのではあるまいか——ご期待下さい

田崎勇三博士 ⇒ 尾崎士郎氏

クミチンキ(胃薬)をビール代り クソーチンキ(ヒステリー薬)で号泣

田崎 あんたとのそもそもなれそめは何だったですかナ

尾崎 ぼくがフィリピンで暫壕生活をしてるとき、四十過ぎの老兵だから、酒を飲む以外には楽しみがなかった、そこでラム酒の強いやつばっかり飲んでたら、ひどい胃潰瘍になった、野戦病院で診てもらったら、胃癌だって、それで内地に帰ってすぐ癌研で診てもらった、それがはじまりですね

田崎 そう、そう、紹介状なしでぼくんところに訪れた、その直後に、尾崎先生の友人で、ぼくと一高時代同室の橋爪健という人から『尾崎がきみのところにゆくから、よく診てやってくれ』って電話があった…

尾崎 橋爪が電話したんですか

田崎 そうですよ、彼は文士として大成しなかったけど…、先生のは癌じゃなかった

尾崎 カイ瘍のひどいやつでしたね、ありゃ戦争後期だったから、惨胆たるもんだった、あのときのことはいまでも忘れませんよ

田崎 ひどい食糧難時代でしたからね

尾崎 先生のところへ、わたしばらく早稲田にいってる娘と一緒にいった、娘がまだ七ツか八ツのときだ、そしたら先生のところにある患者がセンベイを持ってきた、それを看護婦さんが紙に包んで娘にくれた、そのころ米のメシもろくすっぽ食べてないときだから、娘をなんとか、かんとかだまして、そのセンベイを半分ぐらいぼくが食べちゃった(笑)

田崎 センベイは主食で作ってあるから…、外地から帰って来て酒はどうでした?

尾崎 ぼくは伊東に疎開した、伊東ってところはまた酒のないところで、ボクは医者とウマが合うのか、あっちで医者と友達になった、その医者が他の医者に紹介してくれたりして、ずいぶん沢山の医者と知りあった、クミチンキっていう薬があるでしょう

田崎 うんありゃ胃薬ですよ

尾崎 あれに砂糖を入れて水を割ると、ちょうどビールのようになる

田崎 そうそう、ビールそっくりだ

尾崎 ずいぶんあれを飲みましたよ、伊東じゅうの医者のクミチンキを飲み尽しちゃった、そうしたら内山っていう画家が来て、クソーチンキってえやつ

田崎 ありゃヒステリーの薬

尾崎 それも飲んだ(笑)クミチンキと同じようにして…、クソーチンキってえやつは飲めば飲むほどヘンになる、崖から落ちたような気になるんですよ(笑)それで、二人で何がなんだかわからないけど泣くんだ(笑)ワンワンいって…

田崎 ヒステリーの薬だからそんなになるかもしれないな、(笑)エムがたたなくなったろな(笑)毒じゃないですよ、ね

尾崎 ブタノール、あのガソリン臭いやつも飲んだ

田崎 先生とは伊東時代に一回、ホテルで一晩飲み明かしたことがあったですね

尾崎 ありましたね、終戦の前の年ぐらいだったか…

骨のない相撲協会 愛好は"輸入もの"への抵抗

田崎 話題をかえましょうかー初場所大相撲も終りましたけど、先生よくいらしってましたね

尾崎 あまりスポーツは好きじゃないけど相撲は好きなんですよ、田崎さんは毎日欠かさずご覧になってた

そうですけどいつごろからです? 相撲に興味を持つようになったのは…

田崎 大正十三年かな、四年かな、出羽の海が横綱のころですよ、ちょうど優勝して、優勝盃を貰ったときを憶えてますね

尾崎 わたしは大刀山の全盛のころですかねえ、毎日通うようになったのは昭和になってから、それもとくに最近ですね

田崎 あたしも終戦後ですよ 毎日観るようになったのは、なぜかっていうと、協会から招待券が来るようになったからですけど、それよりも、終戦後の日本の進み方が判らない、なんでもかんでもアメリカさんのいう通りにしなくちゃならん、その中で相撲だけはかえられなかった

尾崎 そうだ

田崎 そこで相撲に日本的なものを求め、日本的なものに憧れて、相撲を見にいくようになった、ロマンチックにいえば、郷愁かな

尾崎 わかりますねえ

田崎 とにかくひどかったからね、アメリカの干渉はわれわれの分野にも強かったからね、1つのレジスタンスですよ、相撲愛好は…(笑)

尾崎 ぼくも同感だ、なにしろ見渡したところ、みんながみんなといっていいほどアメリカ輸入のものばかり、残されたのは相撲見物だけだった

田崎 相撲の世界にも力が及ばなかったことはないですよ、この間の場所でも、電話一本で、キャプテン(大尉)ぐらいのが土俵の砂かぶりあたりにタダで来てるんですからね、『止めろ』といったんだ、出羽ノ海に『なんで平こらしなくちゃならんか』って、当りまえの金をとって、無理にいい席なんかやる必要ないですよ、独立日本なんだから…

尾崎 もっともなことですね日本人と同じに扱って、当日のキップなんかやらずに、『前売を買え』っていってやりゃいいのに

田崎 協会首脳部の頭が古いっている証拠ですよ、だから非難される

尾崎 そうだ、そうだ

"若返り""大尽山""吉良港" 強者はオフ・リミットだった文士相撲

田崎 ところで尾崎先生は昔、相撲をとったでしょう

尾崎 昔、文士仲間で大森相撲協会ってえやつを作ったことがありますヨ

田崎 いつごろですか?

尾崎 天竜の率いる関西相撲が脱退したころでしたね、両国の出羽ノ海部屋にいったところが出羽ノ海が火鉢を抱えてしょんぼり小粒の力士の稽古を見てる、可哀そうになっちゃってね よーし、関東相撲を興隆してやろうってんで、当時大森の馬込には沢山文士が集ってたんで…

田崎 あすこは文士の溜り場だった

尾崎 文士連中が四股名をつけて名前だけは立派でしたよ"飛竜山"とか、弱いやつでも"玄海"とか…

田崎 そりゃいい四股名だ

尾崎 ぼくは、はじめ"吉良港"ってつけて、あとで協会に改名届まで出して(笑)"ダ凪"と改名した、あまり強くなかったけど…(笑)

田崎 地位は?

尾崎 前頭筆頭ぐらいですな 山本周五郎は"馬錦"といって強かった、ん、こりゃ

田崎 いまでも強そうだ

尾崎 ただ、文士以外のを入れると、馬鹿に強いやつも入ってくるので、へんなやつは入れなかった、文士以外じゃ、吉田杵太郎、彼が"大尽山"っていってて、その弟で不良がいた、これが横浜の本牧ばっかり遊びにいってるんで"本牧山"って四股名をつけて(笑)入れてやった、あんまり強くないだろうってんで幕尻に付け出したら、これがなんと、大関まで食ってしまった、大関が最高位だったから、彼が一番強いってことになった

田崎 その幕尻は強すぎた、大関の地位の威厳にかかわる問題だ(笑)

尾崎 面白い相撲でね、さっきの"大尽山"と添田さつきの"蟬ヶ峯"の勝負で、大尽が吊られていながら『マッタ』をかけた、行司が『マッタ』をかけることはあるけど力士が自分の褌がゆるんだから吊られていて『マッタ』だって(笑)

田崎 そりゃ無茶苦茶だ、褌をしてたの?

尾崎 本物ですよ、本場所と、晴天三日間の興行をやった、その後もう一ペンやろうって話が持ちあがったけど、経費の点なんかでおじゃんになって、それ以後はバラバラだから…、それから、こりゃ面白かった、四股名は、ほれた女が替ると改名するんだ、今井達夫が"今ヶ関"といってたのが、新しい女が出来て"若返り"って改名した(笑)

田崎 "若返り"とはまた奇抜ですナ、岩専(岩田専太郎)がときどき描く顔が替ると同じだね、それも恋人が替るときに…岩専さんが怒るかナ

尾崎 いい話ですよ、自分の生活に忠実だっていうことを証明することだったから…

関脇に負けられぬ横綱 悲壮な東富士のプロレス入り

田崎 相撲界の話題はやっぱり東富士のプロレスなんだけど…大いに協会側との問題が含まれてますよ

尾崎 そうですね、東富士の立場は見ていて悲壮ですよ、プロ・レスに転向したのは、単なるハズミじゃない彼の将来に連なる生活権の問題で、協会に反発してるんですね

田崎 そう協会では年寄にしようという話が持ち上ったけど、彼からいわせれば、年寄の生活が、華やかなものを望むんじゃないか、普通の生活もあぶない、またプロ・レスに入ったところで、力道山のようになれるとも考えていない、とにかく、なんとかしなくては生活権をおびやかされるっていうんでプロ・レス入りを決意したんだね

尾崎 それと横綱問題、これには二つある、一つは総体的にいって協会の興行的理由から、横綱を空白には出来ない、ファンとしても横綱がいた方がいい そこで協会は適当なやつを引張り出して横綱にする、最近とくにそれが顕著になってきた

田崎 横綱乱造問題ね

尾崎 もう一つは、横綱は絶対的なもので、最高の地位だ、民衆は彼らの夢として横綱を見守っている、だから東富士のプロ・レス入りを表面にあらわれたものだけでなく、横綱の問題として、絶対的にみるか、総体的にみるかで問題にする必要がある

田崎 そりゃそうだ

尾崎 彼は簡単にやめた、その理由は横綱問題だ、だが、横綱をやめてプロ・レス入りなんか考えてもいなかったろう、ところがこんどは生活権だ、彼がプロ・レスに入ったところで、あんな格好じゃあだめ

田崎 それでも練習のせいか少し腹がひっこんだね

尾崎 そりゃそうだけど、東富士がプロ・レスなんてぴったりこないもの(力道山)とちがって…、とにかく曲りなりにも横綱の地位をまっとうしてきた男だから、ファンの夢を壊さないように願いたい、これから新しい人生を出発するんだが、どれだけのことが出来るか、とくに力との…、力は関脇だったからね、横綱が関脇に敗けたら、相撲の威厳にかかわるよ

田崎 その点ぼくも同感だ、彼が横綱というものを本当に自覚していたら、これから先が華やかでなくっても、プロ・レスにはいかなかったろう、力が引張ったとはいえ、極端にいえば、民衆の夢を作っている横綱が、ショウに出るようになっちゃったら、そして、もしセンセイが大成しなかったときに、民衆の横綱に対する憧れが消し飛んじゃう

尾崎 そこを十分考えてもらわんにゃ…

田崎 もうあ[illegible]になることを望[illegible]

尾崎 どうだ[illegible]えに慎重に考え[illegible]士が実際にプロ[illegible]

田崎 ぼくは[illegible]いっといたが…[illegible]生きると思うの[illegible]生活不安が彼を[illegible]いとんだんだか[illegible]すよ『とにかく[illegible]てプロモーター[illegible]も、修養して[illegible]ーの買い手がつ[illegible]からのことだ』当人も『十分そ[illegible]といってたがね[illegible]

尾崎 [illegible]だ、その心ざし…

尾崎 彼とし[illegible]

小細工の多い力士 土俵態度に敢て一言

[illegible]そして全力をつくす、そ[illegible]持が無くて、最近の相撲[illegible]にのみ走る、近代的な意[illegible]ないかもしれないが…[illegible]そう、小細工力士が多[illegible]若い者の気魄、その精[illegible]くなんかは見とれるんだが、それで愚者をほっぽらかしても見にゆく気になる(笑)

尾崎 忙が[illegible]場所中は、三時になる[illegible]ソワソワしちゃう、心は土俵[illegible]中でもいきますものねえ[illegible]相撲のときは癌研へい[illegible]やめることにしよう(笑)

一等に川瀬朝子さん 54年度人気女性の投票読者賞決る

本社主催の一九五四年度の人気女性は誰? の読者投票は、首位の栄冠を中村メイコさんが獲得したが、これにひき続き、投票読者票の抽選を廿八日本社で厳正に行った結果、中村メイコさんに投票した五万二千七百十八票の中から、次の読者の方々に賞品が贈られることになった なお首位の中村メイコさんへの最高人気女性賞と記念品も同日贈られる

一等ミシン 川瀬朝子 杉並区荻窪三の四六

二等カメラ 横堀一芳 台東区中根岸町三の六

三等自転車 中村清 大田区新井宿三の一三九四

【四等=三名ラジオ】柴田誠一(港区芝三田松坂町一)窪田芳文(長野県諏訪郡富士見高原療養所)西村幸子(渋谷区幡ヶ谷原町九〇一)【五等五名ギター】久世一郎(三鷹市牟礼四八七)高梨佐六郎(平塚市新宿八二三)伊阿弥恒造(大田区新井宿一の二三六一)葉山静雄(目黒区上目黒七の九九六、三橋方)島野義幸(熊谷市榎町七)【六等十名オルゴール】角田敏子(世田谷)宮前政雄(習志野)平松良枝(浦和)石井寿治(千代田)野沢勝(世田谷)高橋嵩(武蔵野)川越健太郎(鎌倉)当麻亨(青森)三浦妙子(足立)大津きよ子(茨城)山根力(大宮)小杉義成(南多摩)橋場利雄(北)佐藤厳(府中)大野松子(北多摩)金子トク子(荒川)小寺充則(青森)大倉時造(港)有村国一(文京)高田恵津子(市川)柳沢純子(杉並)浅井恒雄(八王子)山名キミ子(練馬)丸山幸太郎(横浜)武居森造(川崎)田代みのる(横浜)博田義照(市川)佐倉茂(藤沢)内田進一(横浜)石渡六郎(大田)佐藤雅保(千代田)、小川勝義(横須賀)衛藤泰(杉並)川瀬正太郎(中野)山ノ内義雄(愛知)谷津政夫(杉並)宇野進(土浦)本間千代(杉並)重原輝子(川口)今村耕治(杉並)【八等記念品】牛田道夫(宇都宮)ほか四四八名の方には二月十日賞品郵送をもって發表にかえます、一等から七等までの賞品は同日午後一時より本社で贈呈いたしますから、本人または代理人の方は通知状をご持参下さい =敬称略=

豆知識

女性は長生き

女性は男性より長生きするとはよくいわれることですが、それは一体どういうわけからでしょうか、最近アメリカ医学協会ではつぎのような十一の理由をあげていますが、さて、日本の女性にこれがあてはまるかどうか

1、女性は男性より病気に対する抵抗力がある、生れたときからこの特性がある 2、どんな不利な環境におかれても、女性は男性より死亡率が低い 3、死産は男性に多い、これは牛、豚、ウサギなどの動物でも見られること 4、女性と男性の死亡率は毎年同じくらいの差がある 5、女性より男性が、ほとんどどんな病気にかかっても死に至りやすい、ただしガン、糖尿病、甲状腺異状、胆石などは例外 6、殺人、工場事故、アルコール中毒、自殺などで死ぬことは男より女に例が少い 7、その仕事上、事故、暴力、伝染など男性は多くの偶然にあう率は多いが、女は少い 8、ここ十五年間、出産による女性の死亡は非常に減ってきた 9、肺ガンは男性に多い 10、心ぞう病は女性よりはるかに男性に多い 11、家庭設備が発達、安全性が高くなっている

続 情炎の千代田城 (12)

岩崎栄 寺本忠雄画

花曇り(五)

北町奉行支配の同心だという人物が、目明し風態の男をつれて入って来た。

『甚だ突然であるが、ご主人に奉行役宅までご同道願いたい』

という口上である。こうした時こんな場合だったから、家内一同の胸に、ハッとした感情が動く。お静が抜かりなく応待して、

『北のお奉行は、石川河内守様でございましたね』

『左様』

『旦那、あなたは?』

『筆頭与力佐久間繁太郎支配、同心滝五郎と申す』

いかにも定廻りの旦那衆らしく羽織の両裾を内側に折り込ンで、着流しの雪駄ばき—はまさしく小意気な、約束通りのいでたちである。

『あの、こんな渡世を致して居りますけど、これでも御直参千五百石取りってことは、御承知の上で…』

『いかにも、心得て居ります』

同心でも、その上の与力でも、武家に対しては、いきなり権ぺいずくでショッ引くわけには行かないのである。

『で? どのような御用の筋なのでございましょうか』

『詳しくは存じませぬが、こちらの御内儀にかゝわりのあることゝやら…』

『あゝ!』

八百定が出て来て、立ちはだかったまゝ、

『おッかァのやつ、どうかしましたかい』

『さ、そのへんのこと、立ち入っては存ぜぬが、ともかく上司のいいつけで、御足労を願いにまいりました。御主人がおこしになったら、わけなく御同道でお帰り願うようなことゝ存じますが』

『とんでもねえ手数をかけやがるアマだぜ。えゝようがす。お供しやしょうよ』

お静に、

『おめえ、早く飯食っちまいねえ。おいらァちょっくら行ってくるぜ』

『あれ、おじさん。そんな身なりじゃいけない。ちょっと着更えて』

『べらぼうめ、これでたくさんだ。オンの字だい』

素袷の着流しで、片裾をたくし揚げ、毛脛を風に吹かして出て行った。

『変だねえ、千代太郎さん』

『どうしたってえんだろうなァ』

『いずれにしても、あたしゃ夕飯いただいてしまおうねえ』

『ああそれがいいや。そのうちにゃ帰ってくるだろうからな』

しかし、お静が夕食をすまし、あとかたづけをしてしまっても、まだ、夫婦ともに帰っては来なかった。

『ねえ千代太郎さん! 一たいあんた、その車坂ンとこでさ、呼びに来たって女ねえ』

『あゝ』

『その女が変じゃないか』

『変さ。変だとも。あいつにおふくろも、おいらも一ぱいくわされたんだ』

『泥棒かしら』

『そうかも知れねえ。人ごろしかも知れねえな』

二人とも、眼を宙にして考え込ンでいるところへ、足音がして表戸が開いた。

『そら帰ったッ』

『お帰えんなさい』

『や、またお邪魔致しますが…』

入って来たのは先刻の、あの滝五郎といった同心だった。